

意見書

平成 18 年 6 月 29 日

総務省総合通信基盤局
電波部電波政策課 御中

郵便番号 105-7304

(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号

(ふりがな) ソフトバンク ビービーかぶしきがいしゃ
氏 名 B B 株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょう そん まさよし
代表取締役社長 孫 正義

郵便番号 105-7304

(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号

(ふりがな) ビービー かぶしきがいしゃ
氏 名 B B モバイル株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょう そん まさよし
代表取締役社長 孫 正義

郵便番号 105-7317

(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号

(ふりがな) ボーダフォン かぶしきがいしゃ
氏 名 ボーダフォン株式会社
だいひょうしつこうやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表執行役社長兼CEO 孫 正義

「平成 17 年度電波の利用状況調査の評価結果の概要(案)」に対する意見の募集に関し、別紙のとおり意見を提出します。

別紙

はじめに、「平成 17 年度電波の利用状況調査の評価結果の概要(案)」(以下「本評価結果概要(案)」という。)に関しまして、今回このような意見募集の機会を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。

意見

「第 5 章 総括」(5) 地上アナログテレビジョン放送が使用している周波数のうち 710MHz から 770MHz の今後の使用計画について(第 5 章 P.5-4)

地上アナログテレビジョン放送が使用している 715MHz から 768MHz については、平成 15 年の「800MHz 帯における移動業務用周波数の有効利用のための技術的条件」の答申を踏まえて、移動体通信業務用周波数として利用すべきであると考えます。

理由

情報通信審議会の平成 15 年の「800MHz 帯における移動業務用周波数の有効利用のための技術的条件」(平成 15 年 6 月 25 日)一部答申(以下、「平成 15 年答申」)によると、第三世代(IMT-2000)方式への移行を考慮し、800MHz 帯の、より一層の有効利用を図ることに加え、現在地上アナログテレビジョン放送が使用している「715～768MHz」を「905～958MHz」との対の周波数ブロックで使用することが適当とされています。

IMT-2000 サービスは、世界的規模の普及、HSDPA サービス等の更なる高機能化、マルチメディアサービスの実現により、利用者の利便性を向上するものであり、平成 15 年 7 月 30 日に公表された「電波政策ビジョン」では、移動通信システムにおいて 2008 年に 330MHz～340MHz、2013 年に 1060MHz～1380MHz の帯域幅が必要であるとされています。

従いまして、このような将来的周波数需要等を考慮した場合、当該周波数を IMT-2000 に使用することが適当であると考えます。

以上